

# 地元のエールが力になる 応援します！ 荒尾市選手団

## 第65回熊本県民体育祭荒尾大会

①陸上競技 ②水泳 ③軟式野球

出会い  
ときめき  
荒尾県体

9月18日(土)、19日(日)の2日間、荒尾市で14年ぶりに県民体育祭が開催されます。今回からシリーズで、県体に向けて練習に取り組んでいる皆さんのリレーインタビューで、競技種目について紹介します

写真とインタビュー  
1 陸上競技協会理事長 中村武雄さん(月田)  
2 水泳協会理事長 桑原章三郎さん(岱洋中)  
3 軟式野球連盟理事長 吉村英壽さん(野原南)



1

**陸上競技** 男子25種目、女子12種目と、種目数が多い競技です。荒尾は県下で選手数が少なく、全種目へのエントリーは難しいそうです。しかし、「昨年実績からも男子の長距離を中心にフィールド競技、高跳び、砲丸投げ、女子の高跳び、幅跳び、長距離は記録が期待できます」と、市内の競技者をまとめる陸上競技協会の理事



2

長を務める中村さんは言います。「陸上の『走・跳・投』は運動の基本です。まず、走ることに興味がある人はぜひ自ら体を動かして積極的に参加してほしいですね」とも語りました。

**水泳競技** 水泳協会に所属しているのは市内30人。日々の練習以外にも、5つのクラスに分けた水泳教室を開催するなど、水泳の普及に努めているのが水泳協会理事長の桑原さん。選手が市外に流出し、市内では若年の選手層が薄いそうです。「水泳は体も強くなりやすから、改めて多くの人に取り組んで欲しいです」と力強く話します。中高年層の選手は県内トップクラスの実力者も多く、見所の多い競技です。また、県体に向けて更に選手を募集しているそうです。

### 県体水泳選手 急募!

水泳は他の郡市より選手が少ないため、選手を募集します。得意の泳ぎで50m、泳いでみませんか!

●資格 18歳以上70歳くらいまでの水泳経験者で、市内在住の社会人(学生不可)

【問】桑原章三郎さん ☎66-2866 (午後7時以降) ※6月いっぱいまたは30人の応募で締め切ります。



3

**軟式野球** 「硬式野球より、技術的には難しいと思うよ」と話すのは軟式野球連盟理事長の吉村さん。軟式野球のボールはゴム。バットの芯に当たらないと飛距離が出ないから難しいです。軟式野球連盟には学童・少年あわせて8チーム、社会人が21チーム所属しています。県体は市の選抜チームで出場しますが、県内チームの実力は拮抗しているそうです。「今年は今まで参加していなかった実力ある選手を補強する予定。初戦を突破すれば、良い成績が望めますよ。選手の活躍に期待しています」と笑顔を見せました。

### おもな内容 main contents

- 応援します! 荒尾市選手団 シリーズ県体① 2
- 荒尾市中期財政計画策定 3
- 万田坑、復坑 万田坑施設紙上ガイド 4
- 参議院選挙執行時の臨時職員募集 9
- 22年度がん・骨粗鬆症・肝炎ウイルス検診実施 12

携帯電話専用サイト (5/11 まで)

<http://www.city.arao.lg.jp/imode/>  
※通信費は閲覧者の負担です

市のホームページをリニューアルします!  
※詳しくは13ページ

★新しい携帯電話専用サイト (5/12 から) ▶  
<http://www.city.arao.lg.jp/default.M.aspx>



### 題字を書きました



有明小学校 5年 大月 峻平 さん

**書** 道は3年生くらいからお母さんに教えてもらっています。ほかに陸上やスイミングを習っていますが、今は部活動のサッカーがとても楽しいです。応援しているサッカーチームはロアッソ熊本です。将来の夢はスポーツ選手になることです。

荒尾市ホームページ (<http://www.city.arao.lg.jp>)  
声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声訳 (録音版) 広報誌] (福祉課)

# 荒尾市中期財政計画（平成22年度～平成26年度）を策定しました！

**本**市では、これまでの財政健全化策の成果により、順調に財政健全化が進んでいますが、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による連結での財務状況において、病院事業および競馬事業については、依然として非常に厳しい状況が続いています。

本市が将来にわたり持続的に発展していくために、今回、平成22年度以降についての中期的な展望に立った財政計画を策定し、本市財政の今後の基本的指針とすることにしました。

市民の皆さんには、本計画の趣旨をご理解いただき、今後ご協力のほどよろしく願いいたします。

## 前提条件など

- 平成22年度から平成26年度までの5年間。
- 会計単位は、普通会計を基本に推計。
- 「第四次荒尾市行政改革大綱」などを踏まえた取組を着実に推進。

## 主な取組内容と効果

- ・事務事業のより一層の見直しによる歳出全般の抑制。
- ・民間委託化、指定管理者制度の導入などによる更なる人件費の抑制と退職手当債の活用（指標として、人件費比率を20%未満に抑制）。
- ・不測の事態に備えた基金の積立増と取崩額の抑制による基金残高（財政調整基金および減債基金）の20億円以上の確保。
- ・市債の発行と残高における適切な管理（指標として、実質公債費比率を早期健全化基準の2分の1の12.5%以下、将来負担比率を早期健全化基準の2分の1の175%以下など）。

なお、今回の「荒尾市中期財政計画（平成22年度～平成26年度）」の全文は、本市ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

●グラフで見る「荒尾市財政計画（平成22年度～平成26年度）」の目標と成果予測

